

ホタテガイ採苗速報

(地独) 青森県産業技術センター水産総合研究所
 青森県 東青地方水産事務所
 下北地方水産事務所
 水産振興課
 青森市水産振興センター

**付着数が少ない場合、袋替しない方が多くの種苗を確保できます
 袋に付着した稚貝や落下した稚貝も有効活用しましょう**

今年は付着数が少ない状況です。付着数が少ない場合は、袋替えをしない方がより多くの種苗を確保できますが、付着物や泥で目詰まりすると稚貝の成長が阻害されるので、袋替えする必要に迫られた場合には、稚貝を有効活用するために新たな採苗器を用意してください。

1 付着数が少ない採苗器の袋替えの有無

約35,000個/袋付着した採苗器の袋替えをした結果、殻長4.5mm以上の種苗数は袋替えありが13,797個/袋、なしが29,426個/袋と袋替えなしの採苗器が、袋替えありの2倍以上の種苗を得ることができました(図1)。

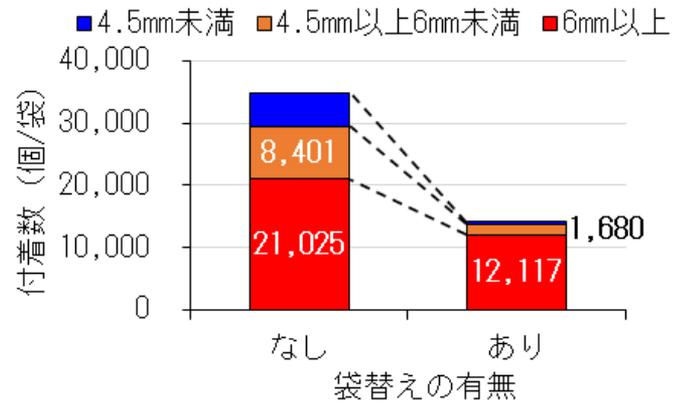


図1. 袋替えの有無別付着数 (赤：殻長6mm以上の種苗、橙色：殻長4.5mm以上6mm未満の種苗、青：殻長4.5mm未満の稚貝、図中の数字は種苗数)

2 袋替え後の袋と落ちた稚貝の有効活用

(1) 袋の有効活用

稚貝が付着した袋を用いて①～③の3種類の採苗器(図2)をそれぞれ2袋ずつ作成し、施設に垂下しました。

(裏面に続く)



①稚貝が付着した袋を新たな採苗器に収容した採苗器



②稚貝が付着した袋を新たな袋に収容した採苗器



③稚貝が付着した袋に新たな流し網を収容した採苗器

図2. 試験に使用した3種類の採苗器



①



②

その結果、採苗器の種類にかかわらず目合い1.5分のパールネットに收容できるサイズまで成長し（図3）、①の「稚貝が付着した袋を新たな採苗器に收容した採苗器」が他と比べて2倍以上の種苗が得られました（図4）。

このことから、稚貝が付着した袋の有効活用には①の方法が良いことが分かりました。

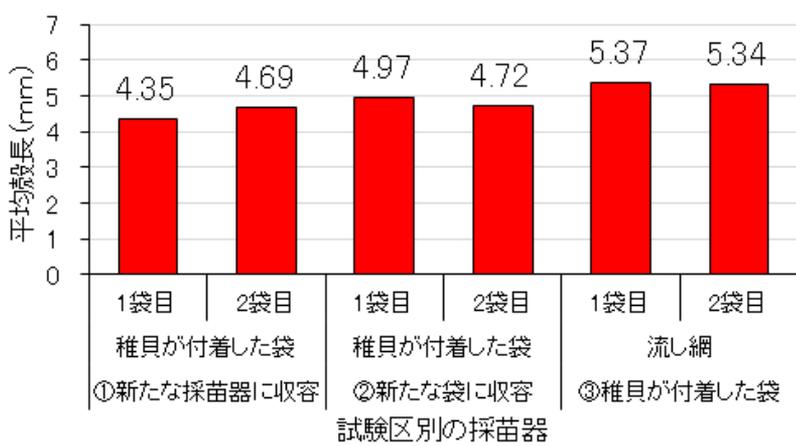


図3. ①～③の採苗器の種苗の平均殻長

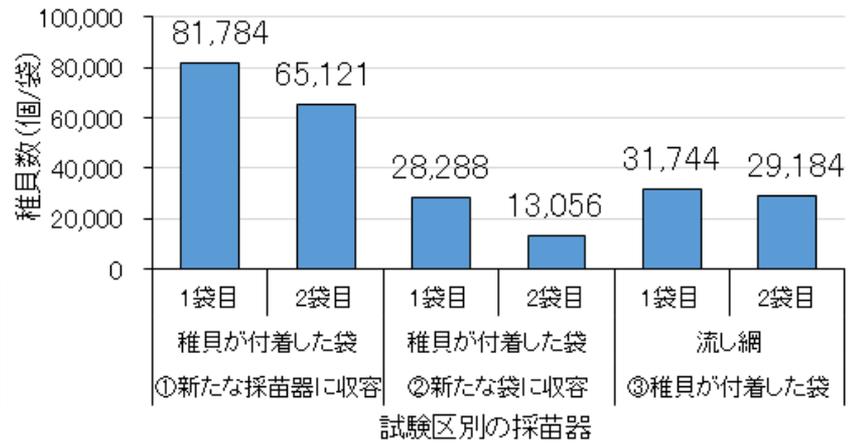
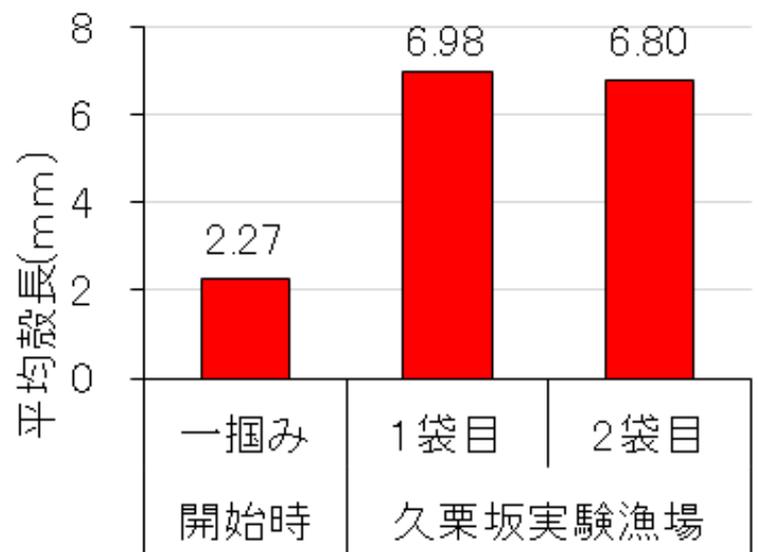
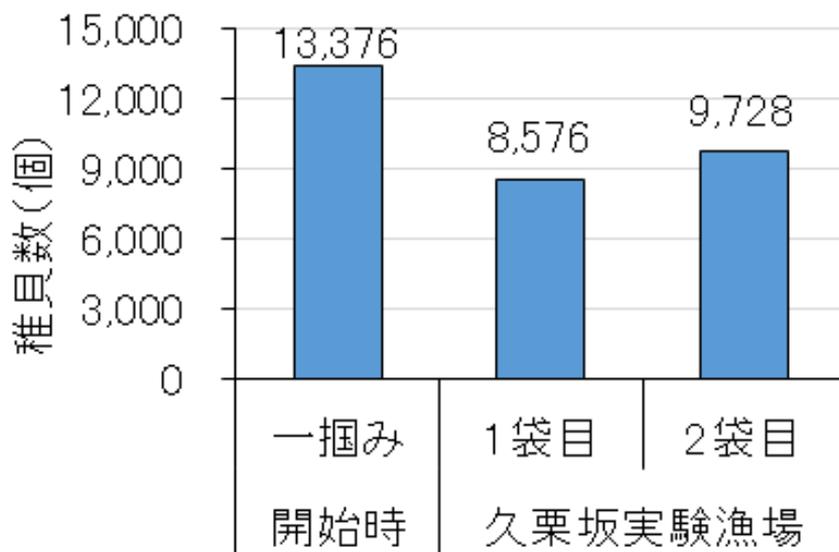


図4. ①～③の採苗器の種苗数

(2) 落下した稚貝の有効活用

採苗器から落下した稚貝を新たな採苗器2袋それぞれに一掴みずつ再收容し、施設に垂下した結果、目合い2分のパールネットに收容できるサイズまで成長した（図5）ことから、採苗器から落下した稚貝であっても利用できる種苗となることが分かっています。



開始時の一掴みと再收容し垂下した採苗器

開始時の一掴みと再收容し垂下した採苗器

図5. 令和4年6月の開始時と8月に久栗坂実験漁場から回収した採苗器の稚貝数と平均殻長



①



②